



# 旧沼津城二重櫓（やぐら）の平面パネル展示での再現

## 「沼津に城があったころ」再現実行委員会

### 目的

これまで、沼津に城が存在したことは沼津史談会や各博物館展示などで広く知らされ、義務教育の一環としての郷土への関心を育む教育は行われてきた。

しかし、代表者らが、適宜行われている「沼津歴史ツアー」（例えば第五校区の「ノルディックウオーク」）などで感じたのは、「沼津は城下町だったのか」というような歴史認識も多いことであつた。学校教育の郷土史学習だけでなく、大人に関心を抱いてもらうための、ある程度大がかりな展示によってその周知や一般化の所期効果が発揮できると考えた。

併せて、昨今のNHK「日本最強の城スペシャル」番組や同大河ドラマ「鎌倉殿の13人」「どうする家康」などを奇貨として、地域自治会、商店会、観光ボランティアの会などの協力を得ながら、商業やまちおこしにも資するものとした。

知らない大人も多い

- ・ 設営の安全
- ・ 来場者の安全
- ・ 環境上の安全

公園利用ということで**安全の確保への取り組み**がより必要と認識

### 二重櫓（やぐら）再現描画と仮設足場利用-1

こんな構造のある程度大きな仮設構造物とパネル展示とした。

高さ×幅は**約5m×5m**、奥行きも**約5m**とある程度の大いキャッチーなもの

側面図 正面図

人の背の高さとの比較

杭 土嚢(74kg×4か所) 構造計算(風圧80kg/m<sup>2</sup>≒風速40m/s 自重507kg)

かつて存在していた規模の約半分

構造計算等で確認。安全係数をかなり高くしている。

沼津工業高校同窓会が有している同校で伝統的に作製されている「アーチ」技術を活用。サブロクと呼ばれるベニヤ板(横)3枚×6枚を桟木で支え、描画と、それを足場に掲示する。

### 二重櫓（やぐら）再現描画と仮設足場利用-2



7月16日下絵



7月24日完成



在校生アーチと並ぶ同窓会アーチ於 沼工祭



同窓会のアーチ再現 於 沼工祭 2022.11.6-8 ただし、当実行委員会とは別会計で実施



中央公園での提示2022.8.26-28



8月26日設営の開始

### 現状と目標

**現状**  
沼津は城下町だったのか」というような歴史認識も多い

**目標**  
中央公園を来訪する人々2000人に見てもらうことを目標とした。あわせて、アンケートなどで、次回開催につなげる。

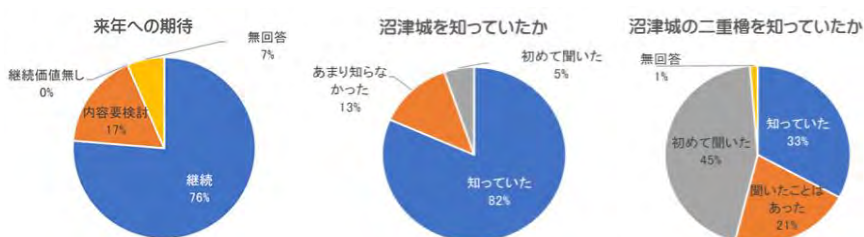


このため、周囲の自治会でPRするとともに  
マスコミでの掲載にも尽力  
(静岡新聞8/27掲載)

この結果、  
**中央公園での観覧者数  
約2000人**

自治会配布資料

次年度も何らかの形で継続を望む **93%**



### 成果と事業を通してつながった人

NHK「日本最強の城スペシャル」番組 同大河ドラマ「どうする家康」などの放映タイミングと併せて

市民への関心喚起にとどまらず、**県内或いは日本国内で沼津市を広く知らしめたことも成果**。地域自治会、商店会、観光ボランティアの会などの協力を得られ、「多様な沼津市民による多様な公園の使い方を集め、実践し、発信することで、沼津市が目指す『ヒト中心の新しいまちなか』の規範となる新しい公園像を実現」(中央公園再整備基本方針)の一助となったと自負。

沼津の発展が「旧沼津城」の遺構を活用したことによることが改めて認識できたと共に、「中央公園」という名称は、これを映した「沼津城址公園」などに改称することに多くのメリットがあるとも認識された。

